

デイク・デイク



「私はロボットではありません」

時代は笑って許せるか？

2022年6月25日(土)ー7月3日(日)

東京芸術劇場 シアターイースト

作・演出:山本卓卓

出演:桒本幸良 福原冠

亀上空花 小濱昭博(劇団 短距離男道ミサイル)

李そじん(青年団/東京デスロック)

百瀬朔 村岡希美(ナイロン100℃/阿佐ヶ谷スパイダース)

範 宙 遊 泳

www.hanchuyuei.com

デョグ・ディグ・ブレイミング!

私はロボットではありません

2022年6月25日(土)ー
7月3日(日)
東京芸術劇場 シアターイースト
作・演出: **山本卓卓**

出演



笠本幸良



福原冠



亀上空花



小濱昭博



李そじん



百瀬朔



村岡希美

時代は笑って許せるか?

その集団は何度も何度も人々を怒らせた。彼らを怒る人々はせいぜい遠隔的にいやがらせを行うくらいで決してその集団の目の前には現れなかった。怒られた実感のない集団は、自分たちの過ちを忘れた再び人々を怒らせるようなことをする。怒る人々はますます怒るがその集団を社会から抹殺することはできない。なぜならばその集団には驚くべき愛らしさがあったからだった。

——第66回岸田國士戯曲賞受賞作家・山本卓卓渾身の新作長編はめげない人々に捧げる生命讃歌。2020年の公演中止を経て待望の上演!

この戯曲は2年前に留学先のニューヨークで半分だけ書き、残りの半分の半分を日本で書き終え上演するつもりでいた。それぞれの土地で書くことでハイブリッドな空気感が閉じ込められるような気がしていたからだ。ところが日本に帰国してまもなくCOVID-19の猛威が全世界を覆い、そして我々の公演が中止となった。こうした経緯で残りの半分を書くという計画が、すっかり宙に舞ってしまった。そんな振り上げた拳を途中で降ろさざるを得なくなってしまったこの半分の戯曲を、2年越しに書き進めてみることにした。この2年ですっかり世界は変わった。この変化など当然予期していなかった2年前の筆致は、威勢に満ちている。言うなれば、夢を見ている。この「夢を見ている」2年前の戯曲に現実を突きつけ「ほらね」などと冷たくアンサーするつもりはない。むしろ私はもっともっと深く鮮明な夢を見ようとしている。

—— 山本卓卓

アートディレクター: たかからかざき 美術: 中村友美 照明: 富山貴之
音響: 池田野歩 衣裳: 白井梨恵 舞台監督: 櫻井健太郎 演出助手: 中村未希
宣伝イラスト: 馬吾朗 宣伝デザイン: 工藤北斗
広報協力: 合同会社syuz'gen 当日運営: 藤井ちより 制作助手: 柿木初美
制作: 大蔵麻月 プロデューサー: 坂本もも
協力: プリッマ 劇団 短距離男道ミサイル 青年団 東京デスロック ギフト ABP inc.
ナイロン100℃ 阿佐ヶ谷スパイダース アパッチ
合同会社Conel モモンガ・コンプレックス 合同会社ロ口
森下スタジオ 急な坂スタジオ ローソンチケット チケットぴあ
助成: 芸術文化振興基金 公益財団法人セゾン文化財団
提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
企画制作・主催: 合同会社範宙遊泳 公益財団法人セゾン文化財団 芸術文化振興基金



東京芸術劇場 シアターイースト 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2111(代) FAX 03-5391-2215
<受付時間> 9:00~22:00(休館日を除く) アクセス: JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口直結。

料金

一般: 4,000円 U25: 3,000円* 高校生以下: 1,000円(一律)* 障害者割引: 2,000円* 当日券: 各500円増し

*当日受付にて要証明書提示

チケット

こちらのQRコードより
各種プレイガイドをお選びください。



<一般・U25 | 事前入金・事前発券>

- 演劇最強論-ing(手数料無料・チケット代のみで購入可)
- ローソンチケット
Lコード: 31990 ローソン・ミニストップ店内Loppi
- 東京芸術劇場ボックスオフィス
電話: 0570-010-296
窓口: 東京芸術劇場1階ボックスオフィス
(休館日を除く10:00~19:00)
- チケットぴあ
Pコード: 512707 興行コード: 2216207
- Peatix
<高校生以下・障害者割引 | 当日精算>
●カルテット・オンライン

- ※未就学児入場不可。
- ※前売りチケットは、クレジット決済またはコンビニ入金、事前発券が必要です。
- ※ご予約の変更、チケットの再発行はできません。
- ※開演時間を過ぎますとお席にご案内できない場合がございます。
- ※車椅子でご来場の方はスペース確保のため、事前に劇団にご連絡ください。
- ※託児サービスあり(1週間前までに要予約)
<https://www.geigeki.jp/access/support.html>
- ※本作はネット空間における誹謗中傷や炎上をテーマにしております。人間の悪意に対して乗り越えていく様を描いており、下記のような、鑑賞者のトラウマを刺激する可能性のある表現を含みます。あらかじめご了承のうえ、ご観覧ください。
- <・悪意ある誹謗中傷を他者に投げつける表現 ・自死についての表現>

2022年6月25日(土)ー7月3日(日)

受付: 開演45分前 開場: 開演30分前

6/25(土)		18:30★
6/26(日)	13:00	
6/27(月)		19:00
6/28(火)	休演日	
6/29(水)	13:00	19:00
6/30(木)		19:00
7/1(金)		19:00
7/2(土)	13:00	18:30
7/3(日)	13:00	

★アフタートーク: 詳細webにて告知いたします。

感染症対策にまつわるご案内

- ※本公演は、会場である東京芸術劇場の規定および、緊急事態舞台芸術ネットワーク「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に準じて創作・上演いたします。
- ※客席最前列とアクティングエリアまで2mの距離をもうけた設営を予定しております。
- ※感染症拡大などのやむをえない理由により、内容の変更や公演中止の可能性がございますこと、あらかじめご了承ください。
- ※公演中止の場合のみ、チケットの払い戻しを行います。

特設サイト

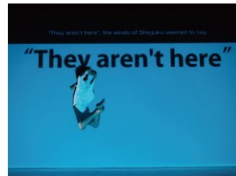
<https://www.hanchuyuei2017.com/digdig22>

お問い合わせ

090-6182-1813(制作)
hanchu.ticket@gmail.com

範宙遊泳 (はんちゅうゆうえい)

2007年より、東京を拠点に海外での公演も行う演劇集団。
すべての脚本と演出を山本卓卓が手がける。現実と物語の境界をみつめ、その行き来によりそれらの所在位置を問い直す。
生と死、感覚と言葉、集団社会、家族、など物語のクリエイションはその都度興味を持った対象からスタートし、より遠くを目指し普遍的な「問い」へアクセスしてゆく。近年は舞台上に投写した文字・写真・色・光・影などの要素と俳優を組み合わせた独自の演出と、観客の倫理観を揺さぶる強度ある脚本で、日本国内のみならずアジア諸国からも注目を集め、マレーシア、タイ、インド、中国、シンガポール、ニューヨークで公演や共同制作も行う。「幼女X」でBangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を受賞。「バナナの花は食べられる」で第66回岸田國士戯曲賞を受賞。
<https://www.hanchuyuei2017.com>



山本卓卓 (やまもと・すぐる)

劇作家・演出家。範宙遊泳代表。
1987年山梨県生まれ。
幼少期から吸収した映画・文学・音楽・美術などを芸術的素養に、加速度的に倫理観が変貌する現代情報社会をビビッドに反映した劇世界を構築する。
オンラインでも創作の場とする「むこう側の演劇」や、子どもと一緒に楽しめる「シリーズ おとなも子どもも」、青少年や福祉施設に向けたワークショップ事業など、幅広いレパートリーを持つ。
アジア諸国や北米で公演や国際共同制作、戯曲提供なども行い、活動の場を海外にも広げている。
ACC2018グランティアーティストとして、19年9月~20年2月にニューヨーク留学。「幼女X」でBangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を受賞。「バナナの花は食べられる」で第66回岸田國士戯曲賞を受賞。公益財団法人セゾン文化財団フェロー。

